

# 空の里だより

NPO法人地域福祉支援センター ちいさな手 第5号

- 時の旅 今昔
- ちいさな手と私
- ちいさな手のお仲間
- ちいさな手 スタッフ紹介
- コラム「風の言の葉」
- NHK朝の連続テレビ小説「あさが来た」に登場!?

【第5号】

2016年4月23日 発行



現在は69歳。足は少々不自由だが、気力はまだまだ有り余っている。



利用者  
木俣  
明美  
さん



39  
年後



30歳頃、靴の修理店をやっていた頃の写真。靴の勉強をし、小樽で働いたが、数年後ふるさとの新得に帰郷。小さな靴修理屋を営むが、そのうちに経営が厳しくなり、新得公民館に勤務。管理人として30年間勤めた。



時の旅

今昔

いまむかし



利用者  
貴戸  
ヨシ子  
さん



45  
年後



昭和46年5月、新婚旅行で青森を訪れた際に夫の延之さんが撮影(当時25歳)。更別村役場に勤めていたヨシ子さんは、新得山岳会に所属していた延之さんと、山登りで出会い、結婚に至った。

新企画「時の旅 今昔」  
過去があるから今があり、  
今があるから未来がある。  
愛燦々とふりそそぐ  
とっておきの一枚をお届けします。

70歳になった今も、赤い服がよく似合う。





ボランティア

清野  
節子



56  
年後



23歳の頃、新得の写真館にて。  
膝に抱えている赤ん坊は、0歳  
児の光彦。

79歳になった今も、持ち前のパ  
ワフルさは健在だ。



スタッフ

小松 愛  
さん



29  
年後



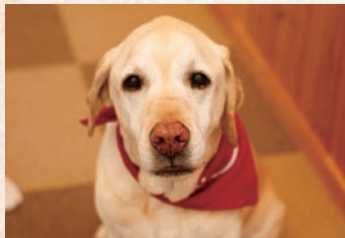
2歳の頃、自分と姉が参加した運  
動会にて。元気いっぱいな女の  
子だった。

今は中学生を頭に3人の男の子  
の母親。31歳になったが、相変  
わらず元気いっぱい。

盲導犬として生まれ、  
パピーウォーカーの  
お宅で育てられてい  
た1歳の頃の絵夢(右  
側)。左は姉のえくぼ。



11年後



ちいさな手に来  
て10年。12歳  
になった。甘え  
ん坊なところは  
今も変わらない。

看板犬

絵夢



スタッフ

清野  
光彦



53  
年後



4歳の頃、自宅玄関前にて。妙な  
貴塚がある。

57歳になった光彦。髪はなくなっ  
てきたが、味がでてきた。

## ちいさな手と私



利用者 西嶋多美子さん(85歳)



池田町利別出身の私は、23歳で結婚して鹿追へ。当時主人は床屋をやっていた。私はといえば、家から6キロメートル離れた親戚の農家宅まで、毎日自転車漕いで手伝いに行ったものだ。昭和45年に、昔からよくお世話になっていた田中峻（こうどし）先生の勧めで新得に移り住み、わかふじ寮で主人と共に働くようになった。主人はそこで製材など木工の仕事、私はミシンが使えたから、利用者さんの椅子カバーを縫ったり、ズボンの直しを任せられた。わかふじ寮で働くようになってからできた趣味が刺繍だった。完成品を娘や親戚にもあげると喜ばれ、やりがいに繋がった。

現在私は、午前中はわかふじ寮で作業を手伝い、午後からは家でテレビを見て好きな週刊誌を読んだりして一日が過ぎていく。週に2回、ちいさな手からヘルパーさんがお世話に来てくれるから、本当に助かっている。

耳の不自由な私は、これまでいろんな人の助けを得ながら生きてきた。だからいつも感謝の気持ちを忘れてはいけない。それが私の心情だ。

趣味の刺繍作品は、  
家中のあちこちに！



整理箱はわかふじ寮で作られたもの。家にある家具類のほとんどがそうだ。



娘のあけみさんと。  
手に持っているのは、多美子さんが刺繍した座布団。





千裕さんの作品。  
実際にアーティスト  
クなご夫婦です。

光彦さんは、18、19歳  
の頃から福祉を目指  
していたと聞いて、人  
のために頑張るすごい  
人だなと思います。

28年くらい前、崇之  
さんが屈足陶芸セン  
ターで焼物を教えて  
いたところに、清野  
夫婦が参加。すぐ  
に仲良くなりました  
！



吉岡 <sup>たかゆき</sup> 崇之さん

崇之さんとは、独身時代から28年  
くらいの付き合い。現在は新得町  
役場の職員さんですが、料理が得意  
で、13年ほど前からそば打ちを  
始め、役場のそばチームにも入  
っています。年に1回開催している  
ちいさな手の「そば会」では、  
いつもそばを打っています。



吉岡 <sup>ちひろ</sup> 千裕さん

奥さんの千裕さんはビーズ教室  
をやっていて、アクセサリーなど  
を作成しています。以前、夏休  
みにちいさな手の「児童デイ」  
を手伝ってもらったことも！  
千裕さんの高校の同級生が、  
たまたま祥子理事長の大学の  
後輩だったという、不思議な  
ご縁でも繋がっています。

ちいさな手のお仲間

吉岡さんご夫婦





玄関先にある  
家族4人の手型と足型。

美唄市の米農家出身の大山聡子さんは10年前、新得町の厚生協会でご主人の浩一さんと出会い結婚。結婚を機に退職、まもなく長女が生まれた。聡子さんと祥子理事長は、社会福祉士の会合をきっかけに以前から知り合いだった。長男も生まれ仕事復帰を考えていた矢先、祥子理事長の誘いで「ちいさな手」の職員として働くことになる。当時はよく1歳半の長男を抱っこしながら仕事をした。「祥子さんにもたくさん子どももの面倒をみてもらいました」と感謝の表情を浮かべる。

「ちいさな手で働くようになって、やりたい事の幅が広がりました。また、ここでは新得で育った方々の繋がりがや絆の強さを感じます。人と人が関わりあえる社会に、少しでも自分も貢献できたら」と、聡子さんはそう力強く話してくれた。



「ちいさな手では、外に出て人と触れ合う機会が増え、イキイキ働いているように見えます」と、ご主人。そんなご主人や子ども達の理解があるからこそ、のびのびと働くことができる。



ご主人の浩一さんは厚生協会の理学療法士で、聡子さんの良きアドバイザーでもある。ちいさな手で研修などもおこなってくれている。

ちいさな手

## スタッフ紹介



ケアマネージャー  
おおやま さとこ  
大山 聡子 さん  
美唄市出身

# 風かぜの言ことの葉は



## 仕

事で年に何度か東京に行く機会がある。都内を電車で移動する際に、いらぬトラブルを避けるために両手はなるべく高く挙げて何かにつかまり、他人と目線が合わないように車内広告や車窓の景色をぼんやり見ているようにしていたのだが、最近、座っている人が何をしていたのかの観察をする楽しみを覚えた。

その結果と言っては大袈裟であるが、傾向として8割程度の人がスマートフォンなどの電子機器の画面と向き合っていることに気が付いた。大勢で乗り合わせているのに、まるで自分以外の人が存在しないかのように画面に向かって一人の間を創りだしている光景を見るにつけ、なんとも言えない違和感を覚える。例えば、本が電子機器に代わっただけと言っしてみればそれまでだが、どうも根本的なところで何かが変わってきたように感じる。

さて、今回は、そんな事を感じながら「出会い」や「別れ」の妙について少し考えてみたい。

学生時代、障がい者と交流する目的で合宿研修に参加していた私は、朝食時に隣にいた先輩から「袖すり合うもたしよの縁」という言葉を教えていただいた。当時の私は、言葉の意味など深く考え

ることもなく、聞こえた音のみをとらえて「袖が触れあうほど隣合わせになるのも多少の縁があるからで、偶然といえどもこの縁を大切にしなければいけない」と教えられたのだと勝手に解釈していた。それ以来、隣り合わせた人には特別な想いを寄せるようになったのだが、それからかなりの年月が過ぎてからようやく「たしよ」＝「多生(他生)」すなわち「前世」であるという事を知った。改めてその意味を広辞苑で調べてみると、「道行く知らぬ人と袖が触れあうことさえ宿縁によるちよつとした出来事もすべて宿世の因縁による」とあった。

今を生きている私達の縁が前の世界での縁に起因している、また現世の縁も同様に来世の縁に関係するとしたら、そんな「縁」の巡り合わせにちよつぱりロマンスを感じる。

勿論、全ての「縁」が良縁とは限らない。しかし、この人とは次の世でももう一度出会ってみたいと強く想い、念じてみるのも一興に値するのではないだろうか。

ひよつとしたら電車の中の隣り合わせになる人も多生の因縁で巡り合っているのかもしれない。そう考えると、改めてちよつとした出会いや別れの機会を大切にしなければならぬと思う。





## NHK朝の連続テレビ小説「あさが来た」に登場!?

NHK朝の連続テレビ小説「あさが来た」の番組終了後に、毎日日替わりで数秒間映る「がんばる女性たち」というコーナーがありました。そこに、ちいさな手のスタッフ写真を応募したところ採用となり、3月2日に放送されました。

当日は、全国各地の友人から「観たよ」コールを沢山いただきましたので、一部ご紹介いたします。



## 全国各地からいただいたメッセージ

- 全国デビューだね!! (スタッフ友人)
- おまえもでてたのかい(スタッフ母親)
- かわいい日本手ぬぐい探しておくね(額田看護師友人)
- とってもよく映っていたね(新得町高畑会員)
- 皆さん爽やかないい顔でした。お陰さまで一日笑顔で過ごすことができました。有難う～?(栃木県)
- なんか一瞬だったけどみんな楽しそうだね(東京都)
- 皆さんはつらつとした様子が伝わってきました(鹿追町渋谷会員)
- チームワーク グーだね!! (千葉県)
- 皆さんの元気な笑顔に私も嬉しくがんばろうと思いました(札幌市目黒会員)
- 観たよ!! まさしくビックラポン(東京都)
- めっちゃいい笑顔でした(札幌市)
- グリーンのTシャツ着た人は施設の人?(若手県)
- 夫が感激してました。いい気分で行ってきま～す!!(奈良県)
- 感動的なストーリーの後で、また写真に感動!!(帯広市 林さん)
- 全国版に出るなんてすご～い!! これからもがんばる女性の代表として元気に活動してくださいね(帯広市 船越会員)
- スタッフの皆様の「笑顔」がステキ!!  
ありがとうございます(新得町IK)
- ぬくもりのあるっていいですね(東京都)
- 今TV観ました。なんか嬉しい気分です(福島県)
- 消そうと思った瞬間に何と見覚えのある笑顔が・・・えっ・もう一度・・・新得?? テレビ出演おめでとうございます(宮城県)



特定非営利活動(NPO)法人  
地域福祉支援センター

「ちいさな手」



〒081-0038 北海道上川郡新得町西3線50番地15

T E L 0156-69-5560 F A X 0156-69-5561

相談専用 0156-69-5570

□E-mail [nposcswc@chive.ocn.ne.jp](mailto:nposcswc@chive.ocn.ne.jp) □HP <http://npochiisanate.jimdo.com/>